

健康保険課だより こども医療の適正受診にご協力をお願いします

●問い合わせ 役場健康保険課 国保・医療係 ☎096(293)3114

●不要な重複受診(同じ病気で、複数の医療機関にかかること)はやめましょう

かかりつけ医を持ち、気になるときは質問をし、必要な場合は専門医などを紹介してもらいましょう。また、中長期的な治療が必要な場合には、「セカンドオピニオン」(重複受診と違い、診断や治療方法の意見を主治医とは別の医師から聞くこと)を利用するのも手です。

●症状に合った病院で受診しましょう

適正受診とは、「できるだけ医療機関に受診しないようにする」ものではありません。症状に応じて医療機関の受診方法を見直し、医療機関の受け入れ態勢を整え、「本当に必要な人が必要な時に安心して医療を受けられるようにする」ものです。

こども医療費は、こどもの健康保持と健全な育成を図る目的で、0歳から高校3年生相当年齢(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの医療費を町が助成する制度です。

こども医療費は、住民の皆さんが納めた税金によって賄われています。医療費は年々増加傾向にあるため、限られた財源を有効に活用できるよう、医療機関の適正受診にご協力をお願いします。

●「こども医療でんわ相談」を利用しましょう

休日や夜間に子どもの症状が悪くなったときにどのように対処したらよいか、判断に困ったときに相談員に電話で相談できます。

【受付時間】
平日 午後7時～翌朝8時



●ジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品とは新薬の特許期間満了後に、同等の品質・効き目・安全性で製造販売される低価格の薬です。



●「診療時間内」に受診しましょう

「昼間は都合が悪い」などの安易な理由で、外来診療をしていない休日や夜間に救急外来を受診する軽症の患者の人数が増えていきます。治療費が高くなるだけでなく、緊急搬送された人などの治療の妨げになる恐れがあります。

大津町幼小接続期カリキュラム

～安心して小学校生活をスタートできるように～

町内の幼稚園・保育園、小中学校の先生たちが意見交換の様子(11月2日)

「幼児教育」と「小学校教育」とは、教育の内容・方法が異なります。幼児期から学童期への「学び」をつなぎ、子どもが安心して小学校生活をスタートできるように作成したのが「幼小接続期カリキュラム」です。

接続期の幼稚園などや小学校での「ねらい」が分かるよね。

幼稚園などや学校、保護者も一緒に、将来の子ども姿をイメージしながら関われるといいね。

大津町幼小接続期カリキュラムはこちら

※資料は役場子育て支援課で配布しています。



わくわく子育て 42

子育てイベントカレンダーで最新情報をゲットしよう!



子育てカフェ(月1回、無料・要予約)

保健師や児童発達の専門家などが対応します。お気軽に!

日時 12月8日(木)
10:00～12:00

場所 まちづくり交流センター

協力 NPO 法人
ペアレントネットワーク

※駐車場は役場もご利用ください。
※状況により、電話相談または中止する場合があります。

役場子育て支援課子育て支援係
☎096(293)5981



学校での取り組みなどをご紹介

●問い合わせ 役場学校教育課 学務係 ☎096(293)3349

美咲野小学校創立10周年の記念式典を開催

美咲野小学校創立10周年の式典が11月19日、美咲野小学校で行われました。平成25年に創立され、当時は全校児童531人から始まり、今では660人の児童が通っています。式典当日は、あいにくの雨で人文字のドローン撮影は延期となりました。体育館で式典が行われ、児童たちによる発表のほか、歴代の校長先生などが参加されました。夕方には、全校児童が作成した三角灯籠や美咲野小学校PTAやボランティア組織の美咲野ベースなどで作成したモニュメントに点灯を行い、児童や保護者、地域の人たちは灯りを楽しみました。



1 2 PTAと「美咲野ベース(ボランティア組織)」によって作成されたモニュメント
3 4 5 体育館には「10」の形に並べられた灯籠。飾られた灯籠には児童たちのメッセージや絵が描かれています 6 町長や教育長、歴代校長などが集まり記念撮影

大病院などの紹介状なし受診がますます高額に

令和4年10月1日から、紹介状を持たずに一定規模以上の病院を受診する場合などにかかる「特別の料金(こども医療費対象外)」が引き上げられます。

【例】医療初診の場合、5千円→7千円

一部の病院に外来患者が集中し、患者の待ち時間や医療スタッフの負担が増加するなどの課題が生じていたことから、国が制度を見直したものです。

高度医療を必要とする患者が、必要な医療を受けることができるよう、また、自身の負担を軽減するためにも、地域のかかりつけ医を積極的に利用するなど適正受診にご協力をお願いします。

●予防接種を受けましょう

感染症から子どもを守るとともに、かかった場合も軽症化させる効果が期待できます。



土曜日 午後3時～翌朝8時
日・祝日 午前8時～翌朝8時
【問い合わせ】 #80000
※ダイヤル回線、IP電話、光電話の場合
☎096(364)9999

学校管理下でのケガなどの場合

学校(幼稚園、保育園、高等学校などを含む)の管理下でのけがなどで、日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象となる場合は、こども医療の助成対象となりません。災害共済給付の手続きなどは、学校などにご確認ください。

●風邪やコロナウイルス感染症を予防しましょう

マスクを正しく着用し、外から帰ったら、手洗い・手指消毒など基本的な感染予防対策を実践しましょう。